



SAF留学

海外で学ぶ 分野別短期研修

11/04月
申込締切

アイルランド

で学ぶコミュニケーションと文化

ローマで学ぶ

イタリア

食文化とサステナビリティ

フランス

ニースで学ぶ持続可能なツーリズム

SAF / IES Abroadと海外で学ぶ分野別短期研修について

SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション（The Study Abroad Foundation、以下SAF）は2000年に米国インディアナ州の認可非営利教育機関として設立され、日本、中国、韓国の大学と提携し、主には中長期の単位認定留学を促進するために活動しています。

IES Abroad は、世界中に約30のアカデミックセンターを持つアメリカ最大級の非営利教育機関です。SAFはIES Abroadを母体に持ち、学生へより多くの海外留学の機会と質の高い留学経験を提供することを目指しています。

「海外で学ぶ分野別短期研修」（以下、本プログラム）の運営は、70年以上にわたり海外留学派遣の実績があるIES Abroadの海外短期留学専門チームとSAFアメリカ本部との協働で行われます。長年の実績から得られたネットワークにより普段は入ることができない施設や機関への訪問等もあり、短期間でも専門性の高い留学体験をご提供します。

2025春季分野別海外研修プログラム一覧

プログラム名	研修場所	日程*	費用 (出願料込)	滞在先	定員
アイルランドで学ぶ コミュニケーションと文化	ダブリン (アイルランド)	2025年2月25日(火)発 ~ 3月11日(火)着 2週間	US\$3,895 +渡航費*1など	アパートホテル (同性寝室シェア)	25名
ローマで学ぶ イタリア食文化とサステナビリティ	イタリア (ローマ)	2025年3月10日(月)発 ~ 3月23日(日)着 2週間	US\$3,745 +渡航費*2など	アパートホテル (同性寝室シェア)	25名
フランス・ニースで学ぶ 持続可能なツーリズム	フランス (ニース)	2025年3月9日(日)発 ~ 3月23日(日)着 2週間	US\$3,625 +渡航費*3など	アパートホテル (同性寝室シェア)	25名

※最少催行人数は、ダブリン 20名、ローマ 15名、ニース 18名 となります。

*日本出発・帰国は航空便スケジュールの都合で前日出発、または翌日到着となる場合があります。

*1 東京-ダブリン往復航空券：約31~35万円（燃油サーチャージ等含む。2024年8月時点参考額）

*2 東京-ローマ往復航空券：約34~36万円（燃油サーチャージ等含む。2024年8月時点参考額）

*3 東京-ニース往復航空券：約29~36万円（燃油サーチャージ等含む。2024年8月時点参考額）

※航空券はグループ手配となります。出国日・帰国日も固定となります。

※上記往復航空券費用の参考額は変動する可能性がありますので予めご了承ください。

※航空券のグループ手配に関してご相談がある方はSAF日本事務局までご連絡ください。

プログラム費用について

プログラム費用に含まれているもの	プログラム費用に含まれていないもの
<ul style="list-style-type: none"> プログラム費用およびその他必要諸経費 滞在先手配と滞在先に関わる費用 SAF指定の海外留学保険と滞在中の緊急時対応サポート 現地到着時および現地出発日の空港送迎 研修中の移動費用(交通費) 修了証の発行やその他、サポート運営費用 	<ul style="list-style-type: none"> 羽田空港又は成田空港～留学先国空港のエコノミークラス国際線航空運賃 出発集合場所までの交通費（留学先国への出発空港は羽田または成田空港となります。出発空港までの移動手段は各自手配をお願い致します。それに掛かる費用は自己負担となります。） 空港施設使用料及び空港税 燃油サーチャージ等 渡航手続き諸費用 パスポート取得・更新が必要な場合の諸費用等 渡航時にビザ申請又は電子渡航許可が必要な場合に掛かる諸費用等 現地で感染症にかかり隔離が必要になった場合の追加滞在先確保に掛かる諸費用等 日本の海外旅行保険（追加加入推奨） 超過手荷物料金 自由時間の行動に伴う個人的な費用 プログラム費用に含まれていない食費 研修先滞在先や研修場所で含まれる通信費以外の通信費 その他の個人的な出費（現地での食費やお土産等の費用は別途各自必要になります）

パスポートについて

申込時点で有効なパスポートを持っていない場合も本プログラムへお申込みは頂けますが、プログラムの催行可否のご案内（メール通知）をSAFより受け取り次第、申請書類をそろえ、パスポートの新規申請または更新手続きを11月14日（木）までに完了頂くようお願い致します。

また、下記の各国入国時のパスポート残存期限要件についても必ずご確認ください。

- **アイルランド**：出国時点（プログラム終了後現地出発時点）で**6か月以上**の残存期限があること
- **イタリア**：出国時点（プログラム終了後現地出発時点）で**3か月以上**の残存期限があること
- **フランス**：出国時点（プログラム終了後現地出発時点）で**3か月以上**の残存期限があること

マイナンバーカードをお持ちの方

自治体によっては、オンラインでのパスポートの申請（新規/更新）や、パスポート新規申請時に必要な戸籍謄本をコンビニで取得することも可能です。詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

外務省
パスポート（旅券）の取得について



コンビニ交付
本籍地の戸籍証明書取得方法



その他、日本国籍以外の方は追加でビザの申請が必要であったりと、日本国籍者とは条件が異なる場合があります。渡航に関して心配な点がある方は、なるべく早くSAF日本事務局へご相談ください。

各研修に必要な語学力について

本プログラムは、英語圏以外の国で開催する場合もコースワークは全て英語で行われます。
本プログラムに参加する場合、下記の語学テストのうち**2022年12月1日以降**に受検したいいずれかのスコアレポートの提出が必要です。スコアを持っていない場合は早めに取得できるようにしましょう。
スコアレポートを持っていない方は、Duolingoなどのオンラインテストを受けることもできます。
詳細は下記QRコードからご確認ください。

※申込時にスコアレポートの提出が必要となります。

TOEIC（IPも可）	450 以上
TOEFL ITP	450 以上
TOEFL iBT	45 以上
IELTS	5.0 以上
Duolingo	75 以上
TEAP	280 以上
GTEC	960 以上
GTEC Academic	2技能：240 以上 4技能：550 以上
英検	2級以上
ケンブリッジ英検	150 以上
iTEP Academic	3.0 以上

IELTS

日本でのIELTSを共同運営する公益財団法人日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルのIELTS申込サイトです。受検にはパスポートが必要です。



Duolingo English Test

自宅からオンラインで受検でき、2～3日で結果が分かるテストです。受検にはパスポートや運転免許証等の身分証明書が必要です。



iTEP Academic Test

自宅からオンラインで受検でき、受検後5営業日以内にスコアレポートが発行されるテストです。パスポートがなくても学生証で受検が可能です。



各研修参加申込のための必須要件です。
語学スコアについて何かご相談がある場合は
お早めにSAF日本事務局までお問い合わせください。

DUBLIN



Ireland

アイルランドで学ぶ コミュニケーションと文化

Communications and Culture in Dublin, Ireland

プログラム期間：2025年2月25日(火)発～3月11日(火)着 [渡航型 2週間]



ABOUT THE PROGRAM

グローバル企業が集まるアイルランドで、グローバル化した経済業界の中でのコミュニケーションと文化の役割を探求するプログラムです。

とくに個人と組織が国境を越えて活動する際、文化の類似点や相違点を考慮しながら、コミュニケーションがどのように適応される必要があるのかを、様々なカルチャーセッション、ゲストレクチャー、ディスカッション、プレゼンテーション、アクティビティ等を通じて学びます。

将来、グローバルに活躍したい方にもお勧めです。

LEARNING OUTCOME

Students will be able to show a general understanding of the role and function of effective communication

効果的なコミュニケーションの役割と機能について一般的な理解を示すことができるようになる。

Students will evaluate cultural theory and assess the role of culture when developing communication strategies and tactics

文化的理論、コミュニケーション戦略や戦術を開発する際の文化の役割を評価する。

Students will explore how to develop and deliver effective presentations.

効果的なプレゼンテーションを展開し、実施する方法を探求する。

主なファシリテーター / 講師プロフィール

JULIE JENNINGS

PROGRAMS COORDINATOR,
IES DUBLIN CENTER

米国バージニア州のメアリー・ワシントン大学で心理学の学士号を、国連平和大学でジェンダーと平和構築の修士号を取得。2022年からIES アブロード・ダブリン・センターに勤務し、以前は韓国と中国でも教育分野に携わる。

人との繋がり、前向きな社会変革の提唱、多様な環境の中で健全で尊重し合えるコミュニケーションを育むことに情熱を注いでいる。

ダブリンで皆さんをお迎えするのを楽しみにしています！



※メインのプログラム進行担当（2024年春）の紹介です。
他にプログラム/レクチャーを担当する複数名の講師やスタッフでプログラムを実施します。

IES ABROAD & SUPPORT STAFF

このプログラムでは、すべての活動に2名の現地スタッフが同行します。また、言語サポートが必要なイベントやアクティビティには、日本語を話せるスタッフが同行します。

STUDENT SERVICES

- ダブリン国際空港までの送迎
- CISI総合国際医療保険
- 現地スタッフによる24時間365日の緊急サポート
- 送別ディナー / レセプションイベント
- 公共バス乗車パス
- サーティフィケート（修了証）



DUBLIN - IRELAND

アイルランドの首都であり、文化の中心地であるダブリンで留学生生活をスタートさせましょう！

ダブリンは、ジョージ・バーナード・ショー、オスカー・ワイルド、ウィリアム・パトラー・イェイツ、サミュエル・ベケットといった偉大な文学者たちの出身地としても知られています。

リフィー川沿いを散策し、ダブリン城を訪れ、アビー・シアターでアイルランド演劇を鑑賞。生の音楽シーンや活気ある劇場で、地元やプログラムの仲間たちと一緒に楽しみましょう！

音楽、歴史、食べ物、自然.....ダブリンには、何に興味があっても楽しめる魅力に溢れています！

PROGRAM FEE

3,895 USドル + 渡航費*など

東京～ダブリン往復航空券：約31～35万円

(燃油サーチャージ等含む。2024年8月時点参考額)

*上記往復航空券費用の参考額は変動する可能性があるので予めご了承ください。

	2/25 TUE	2/26 WED	2/27 THU	2/28 FRI	3/1 SAT	3/2 SUN	3/3 MON
AM	Depart for Dublin	Airport arrival & transport to Dublin housing	Cultural Activity: Dublin Food Tour	Malahide Castle & Gardens Lunch included	Independent Study/ Exploration Day: Explore Dublin/Ireland on your own!	Independent Study/ Exploration Day: Explore Dublin/Ireland on your own!	Cultural Activity: Tour of Dublin Castle
PM			Orientation				Guest Lecture OR Business Visit
		Welcome Event	Culture & Communications Class	Culture & Communications Class			Culture & Communications Class
	3/4 TUE	3/5 WED	3/6 THU	3/7 FRI	3/8 SAT	3/9 SUN	3/10 MON
AM	Day Trip Lunch included	Guest Lecture OR Business Visit	Cultural Activity: Gaelic Games Lunch included	Cultural Activity: Tour of Guinness Storehouse	Independent Study/ Exploration Day: Explore Dublin/Ireland on your own!	Independent Study/ Exploration Day: Explore Dublin/Ireland on your own!	Departure Day Housing check-out & transport to airport
PM		Cultural Activity: Dublin Photo Scavenger Hunt	Culture & Communications Class	Culture & Communications Class			Capstone Presentations

※現地の状況によっては、フィールドスタディ、ゲストレクチャー、アクティビティのスケジュールや内容が変更になる場合もあります。

ACCOMODATION

ダブリン市内のアパートメントホテル（1部屋2名）に滞在予定。

- 家具、寝具、タオル付
- Wi-Fi
- ランドリー、ジム設備あり
- 24時間365日対応のフロント
- 食事なし（簡易キッチン付、カフェ併設）
- 団らん用共有スペースあり

※現時点での予定滞在先になります。設備などは変更になる可能性があります。





Cliff of Moher



Communication Lecture/Visitで ローカルに学ぶ



Communication Lecture / Visit では、コミュニケーション学やアイルランド文化の特定のトピックに焦点を当てた企業訪問やゲスト講義が行われます。これまでの研修では、アイリッシュダンス体験やアイリッシュミュージックのライブ演奏なども行われました。

※訪問先は現地でのスケジュール、訪問団体の都合、天候等の諸事情により一部変更となる場合があります。予めご了承ください。

文化コミュニケーションのクラスには、以下のトピックが含まれます。

- 効果的なコミュニケーション学習
- 文化理解の影響
- マーケティングにおける効果的なコミュニケーションキャンペーン設計での文化の役割
- 地理的な境界を超えたコミュニケーション
- 効果的なプレゼンテーションの作成方法



Cultural Communication Classで専門的に学ぶ



学んだことは Capstone Project で自分の力に！

キャップストーン（Capstone）とは、ピラミッドの頂点に載る石のこと。完成の目印とも言えるその石のように、それまで学んだことの集大成を各々が研究、発表するプロジェクトのことを「キャップストーン・プロジェクト」と呼びます。

本プログラムでは小グループに分かれ、授業で探究した概念、理論、アイデアを取り入れ応用し、プレゼンテーションを行います。

IES
Dublin
Center



ダブリン滞在中は、IESダブリンセンターで勉強したり、ゆっくり過ごしたりすることができます。IESダブリンセンターは、元郵便局だった赤レンガのビクトリア様式の建物を全面的に改装し作られました。セント・スティーブンス・グリーンやトリニティ・カレッジまでも徒歩圏内なので、ダブリン散策にも便利です！



Cultural Activities (Field Studies) では教室を飛び出し、実際にアイルランドの文化的・商業的な施設や歴史的な場所を訪問します。
異なるテーマに焦点を当ててアイルランドの産業の多様性を学ぶことで、多角的な視点で物事を見る力を養い、それぞれのテーマに基づいた将来のキャリアを考えます。

訪問予定先・参加予定プログラム：

- **Dublin Food Tour:** ダウンタウンの観光スポットを巡りながらダブリンの美味しい食べ物を味わい、食文化と歴史について学ぶツアー。
- **Dublin Photo Scavenger Tour:** ダブリンの歴史的建造物を探索しながらチームでパズルを解き、課題をクリアしていくツアー。
- **Dublin Castle Tour:** アイルランドの歴史上最も重要な建物のひとつであるダブリン城を訪問するツアー。
- **Chester Beatty:** チェスター・ビーティ美術館は、ヨーロッパ、中東、北アフリカ、アジアの写本や貴重書、その他の宝物を所蔵し、世界文化の鑑賞と理解を促進するアイルランド屈指の美術館です。
- **Guinness Storehouse:** ギネスビール工場見学では、ギネス社がいかにして世界的な名声と成功を手に入れたか学びます。まるでチャーリーとチョコレート工場のような工場です！



見て、聞いて、
嗅いで、触って、
味わって！

五感を使って学ぶ！

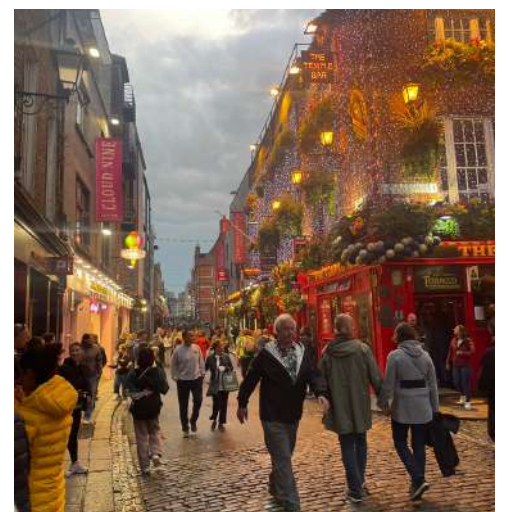
Cultural Activities (Field Studies) & Day Trip

Day Tripではダブリン郊外まで足を伸ばし、アイルランドの伝統的な農村部や自然の美しいエリアを探索します。

過去の研修では、

- **Irish Music and Dance Performance at a Local Theatre :** ダブリン市内中心部にある劇場でアイリッシュミュージックやダンスのライブ・パフォーマンスを鑑賞。
- **County Glendalough :** ウィックロー山国立公園を擁する美しい自然に囲まれたエリア。
- **Howth :** 映画に出てくるような港町で、美しいビーチや息をのむような断崖を見ることができます。
- **Malahide :** マラハイド城とそれを囲む青々とした芝生、そして見事な庭園やガラスの温室が美しいエリア。

など、全身でアイルランドを感じられるフィールドワークが行われました。





ローマで学ぶ イタリア食文化とサステナビリティ



Italian Food Culture: Traditions, Community, & Sustainability

プログラム期間：2025年3月10日(月)発～3月23日(日)着 [渡航型 2週間]

ABOUT THE PROGRAM

このスタディツアーは、イタリアの文化の中でも最も大切な要素であり、世界的にも知られる食文化と、「食」を通じた持続可能な社会づくりの新たなアプローチを連動させて学ぶプログラムです。現在国連が掲げた持続可能な開発目標に関連するプロジェクトが世界で進められていますが、イタリアにおける社会活動は長い歴史があり最先端の取り組みも行われています。クラスセッションでは、イタリア食文化の歴史的背景とその発展、郷土食材と食習慣の重要性について学びます。実践学習では現地で「食」を通じた社会活動を視察、体験するフィールドスタディ、オーガニック農家や市場の訪問、サステナビリティやソーシャルジャスティスに取り組む団体の見学などで、クラスで学んだことをより深掘りしていきます。世界的にみても食文化が発達している国イタリアで、どのような社会活動が展開しているのか、そのムーブメントによって何が生まれているのかを考察します。プログラム終了時には、イタリア食文化を深く理解し、より持続可能な社会づくりのための新しい手法やアプローチを理解できるようになります。

LEARNING OUTCOME

- Describe Italian cooking traditions and Italian habits related to food, eating, and food preparation.
イタリア料理の伝統と、料理、食事、調理に関するイタリアの習慣について現地で学ぶ。
- Recognize the Italian regions along with information on typical foods, main food preparations from the different areas of Italy, and their historical origins.
イタリア各地の代表的な食品、主な調理法、歴史的起源に関する知識、イタリアの風土や文化を学ぶ。
- Understand Italian approaches to sustainability and social justice through the lens of gastronomy and agriculture.
食と農業を通して、サステナブルな社会やソーシャルジャスティスに対するイタリアのアプローチを理解する。

主なファシリテーター / 講師プロフィール

NAIKE VALERIANOI

CUSTOMIZED PROGRAMS AND EXTRACURRICULAR ACTIVITIES COORDINATOR, IES ROME CENTER

ローマ・ラ・サピエンツァ大学で言語・翻訳学の学士号を取得。IES入社以前は、ローマを拠点とするアメリカの教育機関で13年以上勤務。学生時代、2005年に初めてIES Abroadでインターンシップを経験。IESでの経験を通じて、未来の学生たちに自分と同じような充実した旅を提供したいと思うようになり、留学業界でのキャリアを目指すようになった。外国の文化、言語、食べ物、読書、ローラースケート、音楽、旅行が大好き！



IES ABROAD & SUPPORT STAFF

このプログラムには、すべての活動に同行するフルタイムの現地スタッフとパートタイムの学生スタッフのサポートが含まれます。また、日本語を話す講師アシスタントが、言語サポートが必要なイベントやアクティビティに同行します。

STUDENT SERVICES

- フィウミチーノ国際空港での出迎えとお見送り
- CISI総合国際医療保険
- 現地スタッフによる24時間365日の緊急サポート
- 送別ディナー / レセプションイベント
- 公共バス乗車パス
- サーティフィケート (修了証)

※メインのプログラム進行担当 (2024年春) の紹介です。他にプログラム/レクチャーを担当する複数名の講師やスタッフでプログラムを実施します。



ROME - ITALY

ローマでは、コロッセオ、パンテオン、スペイン階段、トレビの泉、バチカン市国サン・ピエトロ大聖堂など、ローマ時代の歴史に包まれながら、永遠の都が誇る現代文化の宝庫を満喫することができます。

イタリア屈指の建築と芸術の宝庫であるローマは、2500年以上の歴史を謳歌しています。ローマに留学すれば、賑やかな市場や曲がりくねった道、そしてもちろんジェラート屋さんなど、毎日が新しい冒険の連続です。言うまでもなく、ローマ人はイタリア料理にとっても情熱的で、その食への愛を喜んで分かち合ってくれることでしょう。

PROGRAM FEE

3,745USドル + 渡航費*など

東京～ローマ往復航空券：約34～36万円

(燃油サーチャージ等含む。2024年8月時点参考額)

*上記往復航空券費用の参考額は変動する可能性があるので予めご了承ください。

	3/10 MON	3/11 TUE	3/12 WED	3/13 THU	3/14 FRI	3/15 SAT	3/16 SUN
AM	Depart for Rome	Orientation	Site Visit: Cooperativa Coraggio	Italian Food Culture Course	Site Visit: Cookery Rebibbia - Prisoner Rehabilitation	Site Visit: Campagna Amica	Independent Study/ Exploration Day:
		Italian Food Culture Course	Discussion Session	Discussion Session			
PM	Airport arrival & transport to Rome housing	Welcome Event	City Walking Tour	Site Visit: Roman Street Food Tour	Italian Food Culture Course	Cultural Activity: Colosseum, Forum and Palatine Hill	Explore Rome/Italy on your own!
					Discussion Session		
	3/17 MON	3/18 TUE	3/19 WED	3/20 THU	3/21 FRI	3/22 SAT	3/23 SUN
AM	Tivoli Day Trip (Lunch included)	Italian Food Culture Course	Italian Food Culture Course/Olive Oil Tasting	Site Visit: Traditional Italian Cookie Factory Group A	Site Visit: Traditional Italian Cookie Factory Group B	Departure Day Housing check- out & transport to airport	Arrival in Japan
		Discussion Session	Discussion Session	Cooking Session: Group B	Cooking Session: Group A		
PM		Wine* & Cheese Tasting <small>*20歳以上の方のみ</small>	Site Visit: Associazione Recup	Dedicated Project Work Time	Capstone Presentations & Closing		
					Farewell Dinner		

※現地の状況によっては、フィールドスタディ、ゲストレクチャー、アクティビティのスケジュールや内容が変更になる場合もあります。



クラスセッションでは、イタリア食文化の歴史的背景とその発展、郷土食材と食習慣の重要性について学びます。実践学習では現地で「食」を通じた社会活動を視察、体験するフィールドスタディ、オーガニック農家や市場の訪問、サステナビリティやソーシャルジャスティスに取り組む団体の見学などで、クラスで学んだことをより深掘りしていきます。

- イタリア食文化の紹介～イタリア美食の歴史、料理の種類、調理法、食習慣
- イタリア料理の地理～季節料理と郷土料理、気候の影響、地元市場とオーガニック農業の重要性
- 食品とワインに関する政府の政策と法律
- スローフード運動
- イタリア人の食生活～ワイン、チーズ、オリーブオイルの重要性

Italian Food Culture Course でBuono! な学びを

CO-CURRICULAR SITE VISITS

このプログラムでは、イタリアの食文化、サステナビリティ、ソーシャルジャスティスに関連する教室での学びをより一層深めるために実際の現場をいくつか訪問します。

- **Associazione Recup**：レカップはフードロス削減の取り組みをミラノとローマで実施する協会。若いスタッフが中心となり食品ロス削減活動をクリエイティブなアイデアで楽しい市民イベントとして展開しています。ローマでは公設市場で売れ残った食材を回収し、その食材を使いみんなで調理し、食事会を開催しています。
- **Cookery Rebibbia (カフェ&ベーカリー {クッカーリー レビッビア})**：ローマのレビッビア刑務所内にオープンしたカフェ&ベーカリー。大手スーパーマーケット運営会社による、受刑者の社会更生支援を目的としたスタートアップ事業のひとつです。刑余者を従業員として雇用し、刑務所内でパンやお菓子、お惣菜を生産。その商品は「クッカーリー」というブランド名で市内のスーパーマーケットで一般客向けに販売されています。パンづくりを通じて更生の機会を提供し、再就職のための支援を行うこのプロジェクトは、より安全な社会づくりを目指す企業の取り組みとしてイタリア国内でも注目されています。
- **Cooperativa Agricola Coraggio (コラッジョ農業組合)**：長年放置されていたローマ市の公有地をオーガニック農業地に再生することに成功した農業組合。農業従事者の若返りを目指すローマ市が模範農家と賞賛する、若い新規農家のプロジェクト。農家は障がい者やニートなど社会的弱者といわれる人々を農業を通じて社会復帰支援をする「ソーシャルファーム」としての役割も担っています。地域コミュニティづくりや市民への食育など、農業を通じてさまざまな環境&社会活動に取り組んでいます。
- **Italian Cookie Factory**：伝統的なクッキー工場を見学することで、イタリアのおいしい菓子・ビスコッティに触れるだけでなく、料理の習慣、レシピ、調理技術を世代から世代へと受け継いでいくイタリアの重要な伝統についても学びます。
- **Mercato di Campagna Amica**：イタリア農業組合が運営するローマ最大の有機農家によるファーマーズマーケットです。この市場は消費者との直接的な交流を重視し、農家自身が生産物を直接販売しています。地産地消の推奨や、子供への食育イベント、また農家と買い物客による生活困窮者への食材寄付など、あらゆる社会貢献活動を行っています。市場の中庭では、販売されている新鮮な食材を使ったランチを楽しむことができ、ローマ市民の人気スポットになっています。
- **Mercato Trionfale**：ローマで最初の地域市場と言われるメルカート・トリオンファーレは、現在では250以上の露店が並ぶヨーロッパ最大の屋根付き市場です。
- **Roman Street Food Tour**：このウォーキング・ツアーでは、地元ローマのストリート・フードを試食しながら、郷土料理の歴史、品質、目的等を理解します。

※訪問先は現地でのスケジュール、訪問団体の都合、天候等の諸事情により一部変更となる場合があります。予めご了承ください。



ACCOMODATION

ローマ市内のアpartメントホテル（同性複数人部屋）に滞在予定。

※以下は現時点での予定滞在先になります。設備などは変更になる可能性があります。

- 家具、寝具、タオル付
- Wi-Fi
- 24時間365日対応のフロント
- 食事なし（簡易キッチン付）
- 団らん用共有スペースあり
- 近隣にカフェやレストランあり



IES ROME CENTER

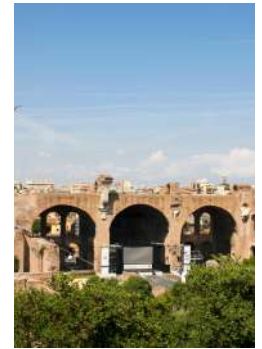
ローマ滞在中は、IESローマセンターで勉強したり、ゆっくり過ごしたりできます。

IESローマセンターは街の中心に位置しています。センターは1920年代の建物を改装したもので、イタリアで最も長い川のひとつであるテヴェレ川沿いにあります。食材市場メルカート・トリオンファーレを訪れるにも、バチカンから歩いて帰るにも、立地条件の素晴らしい留学の拠点となるでしょう。

SITE VISIT - ROMAN HISTORY & ART

ローマを訪れたら、この街の素晴らしい建築物や史跡を訪れないわけにはいきません。この研修では以下の史跡なども巡る予定です。

- **Colosseum**：永遠の都ローマを象徴するコロッセオは、世界最大の古代円形闘技場。完成した西暦80年にはすでに5万人もの観客を収容し、剣闘士と野獣の戦いや闘技場内に水を張りヨットレースも行われていました。古代ローマ人の博学とこの地の激動の歴史が垣間見える生きた遺跡です。
- **Roman Forum**：古代ローマ帝国の政府の建物や遺跡の中心地であるフォロ・ロマーノ。約2000前の役所や神殿、住居跡が未だに残り、当時の帝国の繁栄を散策しながら知ることができます。
- **Palatine Hill**：フォロ・ロマーノとつながっているパラティーノの丘は、ローマの7つの丘のひとつ。古代ローマ時代の皇帝たちの重要な住宅地でしたが、現在は主要な考古学公園となっています。



主なファシリテーター / 講師プロフィール

MIKA HISATANI

ジャーナリスト/イタリア食文化コンサルタント

ローマ在住歴27年。ワイン輸入商社のイタリア事務所マネージャーを経て、イタリア食材&ワインのコンサルタントとしてイタリア全土を巡る。イタリア食事情に関するメディアへの執筆多数あり、ローマ3ツ星シェフ、ハインツ・ベック氏の日本ビジネスアシスタントでもありました。現在では、イタリアの【食】を通じたソーシャル・イノベーションを学ぶプラットフォーム「アビタート」を設立し活躍しています。

- イタリア外国人ジャーナリスト協会会員
- AISイタリア政府公認ソムリエ協会ソムリエ
- 著書：イタリア野菜紀行（埼玉新聞社）



Instagram



世界で活躍する
日本人に直接
話を聞いてみよう!



※講師アシスタント担当（2024年春）の紹介です。
他にプログラム/レクチャーを担当する複数名の講師やスタッフでプログラムを実施します。



フランス・ニースで学ぶ 持続可能なツーリズム

Nice Study Tour on Sustainable Tourism



プログラム期間：2025年3月9日(日)発～3月23日(日) [渡航型 2週間]

ABOUT THE PROGRAM

地中海エリアは主要な観光地域であると同時に、世界で最も重要な生物多様性のある地域と考えられています。残念ながら、多くのマストゥリズム活動では、地中海の生物多様性とその脆弱な生態系を脅かす持続不可能な活動がされています。

ニース滞在中は、危機、適応、回復力をリアルタイムで学びます。コースワーク、ケーススタディ、フィールドワークを通じて、この脆弱な地域が直面する社会的・環境的課題を観察し、この地域の保護・保全に対するフランスのアプローチを探ります。

LEARNING OUTCOME

Recognize the fundamental principles & key concepts of sustainable development

持続可能な開発の基本原則と重要な概念を理解できるようになる。

Analyze the Mediterranean basin as a laboratory for sustainable development

地中海地域を持続可能な開発の実験場として分析する。

Describe key sustainable tourism practices France is employing to secure the Mediterranean region's long-term sustainability

地中海地域の長期的な持続可能性を確保するためにフランスが採用している主要な持続可能な観光の実践的取り組みを説明できるようになる。

Learn methods Japan can use to combat the effects of climate change and mass tourism to ensure a more sustainable society

気候変動とマストゥリズムの影響に対抗し、より持続可能な社会を実現するために日本が活用できる方法を学ぶ。

主なファシリテーター / 講師プロフィール

STEPHANIE PALISSE

IES ABROAD NICE CENTER DIRECTOR

フランスとカナダの二重国籍者であるステファニーは、フランス語教育と教育学、そしてアカデミック・プログラムのコーディネーションとアドバイザーの分野で豊富な経験を積んでいます。

彼女のフランス語教育におけるキャリアは20年近くに及び、ブリティッシュ・コロンビア大学やトロントのアライアンス・フランセーズでの教職から、リヨン第2大学やパリ政治学院のサマープログラムなどでの言語・文化プログラムの指導まで、幅広い学術経験を有しています。リヨン第2大学で言語学の博士号と修士号を取得。



※メインのプログラム進行担当（2024年夏）の紹介です。
他にプログラム/レクチャーを担当する複数名の講師やスタッフでプログラムを実施します。

IES ABROAD & SUPPORT STAFF

このプログラムでは、すべての活動に2名の現地スタッフが同行します。

また、言語サポートが必要なイベントやアクティビティには、日本語通訳者が同行します。

STUDENT SERVICES

- コート・ダジュール国際空港までの送迎
- CISI総合国際医療保険
- 現地スタッフによる24時間365日の緊急サポート
- 送別ディナー/レセプション
- 公共交通パス
- 修了証



NICE - FRANCE

フレンチ・リビエラのきらめく地中海の端に位置するニースは、温暖な気候と澄んだ空が魅力的です。

旧市街の狭い通りを散策したり、コリーヌ・デュ・シャトー（城の丘）から息を呑むような大パノラマを見下したりと、ニースへの留学はあなたを魅了することでしょう。

PROGRAM FEE

3,625 USドル + 渡航費*など

東京～ニース往復航空券：約29～36万円

（燃油サーチャージ等含む。2024年8月時点参考額）

*上記往復航空券費用の参考額は変動する可能性があるため予めご了承ください。

	3/9 SUN	3/11 TUE	3/12 WED	3/13 THU	3/14 FRI	3/15 SAT	3/16 SUN
AM	Depart for Nice	Orientation Walking Tour	Course: Sustainable Tourism	Course: Sustainable Tourism	Course: Sustainable Tourism	Cultural Activity: Pétanque	Independent Study/ Exploration Day:
	3/10 MON						
	Airport arrival & transport to Nice						
PM	Welcome Event	Walking Tour	Site Visit: Regional Product Food Tour Nice	Cultural Activity: Chagall Museum	Site Visit: Musée Océanographique de Monaco	Independent Study/ Exploration Day	Explore Nice on your own!
				Cultural Activity: Cheese & Wine* Tasting <small>*20歳以上の方のみ</small>			
	3/17 MON	3/18 TUE	3/19 WED	3/20 THU	3/21 FRI	3/22 SAT	3/23 SUN
AM	Day Trip (Lunch included)	Course: Sustainable Tourism	Course: Sustainable Tourism	Course: Sustainable Tourism	Course: Capstone Presentations	Housing Check-Out	Arrival in Japan
PM		Site Visit: Roquebrune- Cap-Martin	Site Visit: Jardin de Monastere	Cultural Activity: Nice Observatory	Farewell Event		
		Cultural Activity: Cooking Class				Depart Nice	

※現地の状況によっては、フィールドスタディ、ゲストレクチャー、アクティビティのスケジュールや内容が変更になる場合もあります。

ACCOMODATION

アパートメントホテルに（同性2人部屋）滞在予定
（IESセンターから公共交通機関で30分圏内）

※以下は現時点での予定滞在先になります。設備などは変更になる可能性があります。

- 家具、寝具、タオル付
- Wi-Fi、ランドリー
- 食事なし
- 団らん用共有スペースあり
- 近隣にカフェやレストランあり



SUSTAINABLE TOURISM

WHAT IS "SUSTAINABLE TOURISM"?

国連世界観光機関（UNWTO）は、サステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）を「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」と定義しています。

第二次世界大戦後の経済発展によるマスツーリズム（観光の大衆化）から始まり、世界的な交通網の発達やSNSを使った情報発信によって、「旅行」は私たちにとって身近なものになりました。観光の大衆化は、観光地での文化交流や雇用機会の増加、経済の活性化などのポジティブな効果をもたらす反面、近年はインフラ不足や交通渋滞などによる地元民の生活の圧迫や騒音、環境破壊などの原因となるオーバーツーリズムを引き起こし、世界的な問題となっています。

そんな中、地球を持続可能なものにするための国際目標であるSDGsの広まりと共に、サステナブルツーリズムに注目が集まっているのです。



ニースの近代的なエリアの中心に位置するIESアブロード・ニースセンターでは、高度なトレーニングを受けた現地スタッフがあなたの留学生生活を現地でサポートします。留学の拠点となるIESアブロード・ニースセンターには、教室、ラウンジ、資料室などがあり、のんびりするのにもぴったり！



WHY FRANCE?

世界有数の観光地であるフランスでは、他の国に先駆けて持続可能な観光を実現するために様々な取組みが行われてきました。地産地消を促す「ロカヴォア（local：地元とvore：食べる人を合わせた造語）」の推進や、AMAP（農民農業支援維持団体）のようにマルシェとは違う形で生産者と消費者を直接繋ぐシステムの導入。Pavillon BleuやFlocon Vertなど、持続可能な観光施策を実施するエリアには環境認定ラベルが与えられ、文化的・環境的な活動をサポートしています。

とくにニースのような地域は、地中海の豊かな自然環境と文化的遺産が調和した理想的な学習の場といえます。



STUDY TOPICS

プログラム期間中に予定されているテーマ一覧：

- 持続可能性とは？持続可能性の基礎と国連SDGsの枠組みを学ぶ
- システム思考：持続可能性のためのデザイン
- 地中海地域における持続可能な開発の課題
- 持続可能な観光の実践
- 海と沿岸地域の持続可能な管理を実現するための政策とツール
- 持続可能な消費と生産を含むグリーン経済への移行

WORKSHOPS, SITE VISITS & GUEST LECTURES

このプログラムでは、持続可能性と観光事業に関するゲスト講演や視察、ワークショップに参加します。

📍 Jardin de Monastere

シミエ地区の北部にある修道院と美しい庭園は、ニースの町と地中海を360度見渡すことができ、市民の憩いの場としても知られているこの場所で、史跡の保存と観光地としての魅力について迫ります。

📍 Musée Oceanographique de Monaco

モナコ海洋博物館。海洋生物を観察し、海と地中海地域を保護し、持続不可能な観光事業から守るためのモナコの現在および歴史的取り組みについて学びます。

📍 Regional Product Food Tour Nice

ニース地域特産品ツアーでは、ツアーガイドがみなさんをニースの歴史的旧市街に案内します。地域の特産品の販売を通して地元の生産者と消費者を繋ぎ、持続可能なマーケットについて学びます。

📍 Roquebrune-Cap-Martin

ロックブルーヌ・キャップ・マルタンでは、地中海沿岸をハイキングし、その荒々しい自然の姿と、過剰な観光事業の影響を受けた部分を実際に見ることができます。

※訪問先は現地でのスケジュール、訪問団体の都合、天候等の諸事情により一部変更となる場合があります。予めご了承ください。



CULTURAL ACTIVITIES

Cultural Activities（文化体験）では教室を飛び出し、ニースの地元の人たちに混ざって文化を体験します。

📍 Cheese and Wine Tasting

地元のチーズとワインを紹介。土地の特色や歴史、食文化に触れながらテイスティングを行います。

📍 Pétanque

ペタンクはフランスのスポーツで、特に南部ではパスティス（地元のアルコール飲料）を飲みながら楽しむことができます。また、友人と親睦を深めたり、周囲の自然を楽しむことができます。

📍 Cooking Class

料理教室では、伝統的なニコワーズ料理の作り方を学んだあと、みんなで美味しくいただきます。

📍 Chagall Museum

マルク・シャガールは有名なロシア系フランス人画家で、第二次世界大戦後の晩年をコート・ダジュールのヴァンスで過ごしました。ニースにあるシャガール美術館はシャガールに捧げられたもので、この地でのシャガールの生涯に迫っていきます。

📍 Nice Observatory

ニースの丘の上にあるニース天文台は、パリやモナコのオペラハウスで有名な建築家シャルル・ガルニエによって建てられました。



楽しく安全な留学を！ 留学前・留学中の心構え

1 パスポートの期限をチェック！

申込時点で有効なパスポートを持っていない場合も本プログラムへお申込頂けませんが、プログラムの催行可否のご案内（メール通知）をSAFより受け取り次第、申請書類をそろえ、パスポートの新規申請または更新手続きを **11月14日（木）まで** に完了頂く必要があります。

また、パスポートの残存期限要件は国によって異なります。

- **アイルランド**：出国時点*で **6か月以上**の残存期限があること
- **イタリア**：出国時点*で **3か月以上**の残存期限があること
- **フランス**：出国時点*で **3か月以上**の残存期限があること

*出国時点＝プログラム終了後現地出発時点

2 ビザ／渡航認証について

2024年 8月現在、日本国籍の方は

- **アイルランド**：
3か月未満の観光や商用を目的とする渡航はビザ不要
- **イタリア**：
90日以内の観光、ビジネスなどの出張を目的とする渡航はビザ不要*
- **フランス**：
90日以内の観光、ビジネスなどの出張を目的とする渡航はビザ不要*
*2025年より、事前渡航認証システム「ETIAS（エティアス）」が導入される可能性があります。その場合は渡航前にご案内します。



ETIASについての詳細は
こちらから！
(EU(欧州連合)公式サイト)

✈ 渡航後は……

▶ 「海外モード」に切り替える

一歩でも日本を出たら、そこはもう別世界。楽しくてワクワクする気持ちもわかりますが、「日本での常識」が通じない場所にいることを常に自覚して、気持ちを「海外モード」に切り替えてください。

▶ 手荷物から手を離さない

カフェで注文しに行くときに友達に「ちょっと見ておいて」と声をかけて席を立って、戻ってきたらカバンがなかった。こういう話、よくあります。荷物から「目を離さない」は当たり前、「手を離さない」ことも意識して過ごしましょう。

3 「たびレジ」に登録

「在留届」は、海外に3か月以上滞在する全ての日本人に提出が義務付けられています（旅券法第16条）。

海外での滞在が3か月未満の場合は、外務省からの最新の安全情報を日本語で受信できる海外安全情報 無料配信サービス「たびレジ」の登録をオススメしています。

たびレジに登録すると、渡航先の地域での重大な事故や事件、トラブルなどの情報が受信できます。

右の図のようにLINE連携もできますよ！



海外へ渡航される皆様へ
たびレジ オンライン在留届

4 オリエンテーションに参加

SAFでは、本プログラムの参加者を対象に出発前オリエンテーションをオンライン(Zoom)で実施します。

2025年 2月13日（木） 13:30～16:00

プログラムに関する情報以外にも、現地での注意事項や留学前の疑問や質問への回答なども行っているので、必ずご参加ください。

おうちに帰るまでが
留学です！



▶ 実際に日本人が巻き込まれた事件

Case 1: ポケットにいれていた貴重品をすられた

人混みでもないからと、いつものようにスマホをズボンのポケットに入れて歩いていたら、いつの間にかすられてなくなっていた。

ポケットに入れたスマホや財布。周りに人がいないように見えても、悪い人は狙っています！貴重品は肌身離さず。ハンドバッグやボディバッグはジャケットの下や体の前で抱えるように持っておきましょう。

Case 2: クレジットカードを不正利用された

短期の旅だったため、現金は最低限のみで主にクレジットカード決済で過ごした。帰国後明細を見たらびっくりする金額の請求がきていた。

物理的にカードを盗られなくても、スキミングや不正利用の被害を受ける可能性があります。帰国後は必ずクレジットカードの明細を確認し、使用額と請求額があっているか確認を行ってください。



葛谷 友美さん



千葉大学 1年生 (2023年春 / Sydney)

留学では、たとえ短期であっても、非常に多くのことを経験できます。文化の違いを肌で感じたり、現地の人と交流できたりするのは、実際に海外に行った人だけです。

私にとって今回の留学が初めての海外でしたが、有意義な時間を過ごし、人々の優しさに触れ、近いうちにまた海外に行きたいと思うようになりました。

そして、英語圏で生活することで自分の英語の能力を理解し、英語を勉強するモチベーションが高まりました。私は、このプログラムに参加して本当に良かったと思っています。

もし、プログラムへの参加を迷っているのならば、ぜひ、参加することをお勧めします！

山崎 遥さん



早稲田大学 2年生 (2024年春 / Rome)

私のように「長期で行くのは...」と、期間でのデメリットが気になってしまう人、また「語学レベルがあまり高くない」と思っている方も、サポートも手厚いうえに日本人のみならず行動するのであまり気にしなくても大丈夫だと思います！（せっかく海外に行くのに日本人とずっと一緒にいるのは...と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、アジアならまだしもヨーロッパは基本的に日本語は通用しませんので、否が応でもみんなで英語を話すことになります。）

プログラムがとてもユニークでめったにできない経験ばかりで、本当に行ってきたと思っています。

留学を迷っている方は、ぜひ一度短期留学も視野に入れてみてはいかがでしょうか？

國本 樹里さん



早稲田大学 1年生 (2024年春 / Dublin)

留学をするか悩んでいる方、純粋に海外で異文化に触れてみたい方、少しでも分野別短期研修や海外に興味があるなら参加することをお勧めします。感染症や世界情勢の変化など今後いつでも何が起るか分からないため、チャンスがあるときに思い切って行くべきだと思います。

語学力に不安があっても、サポートが充実していますし参加者同士で助け合いながら生活できるかと思っています。もちろん費用面でも懸念があるかと思いますが、学生時代に見聞きし感じたことはお金に変えられない一生ものの経験になると思います。



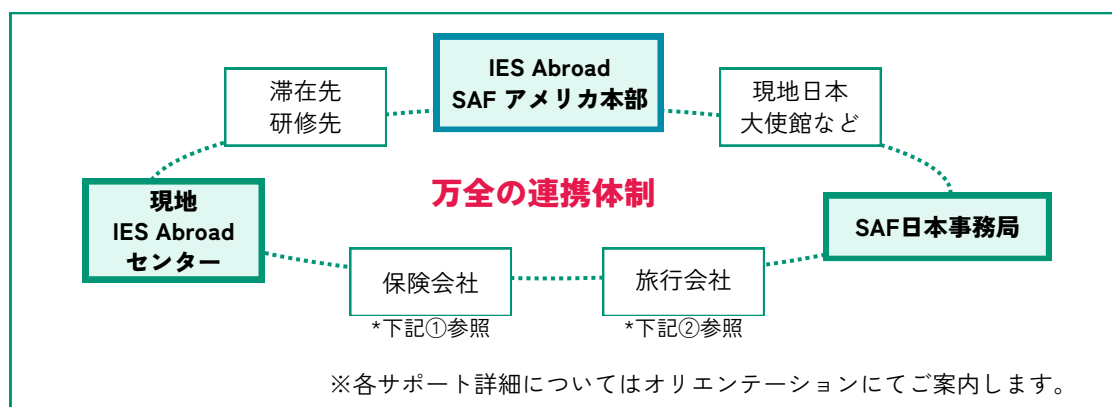
SAF Japan公式Instagramでは留学の写真やイベント情報などを紹介しています！



ぜひフォロー＆タグ付け投稿お願いします！

研修サポート体制

学生が安心してプログラムに参加できるよう、研修期間中は下記の図のように関係各所と連携したサポート体制がとられています。



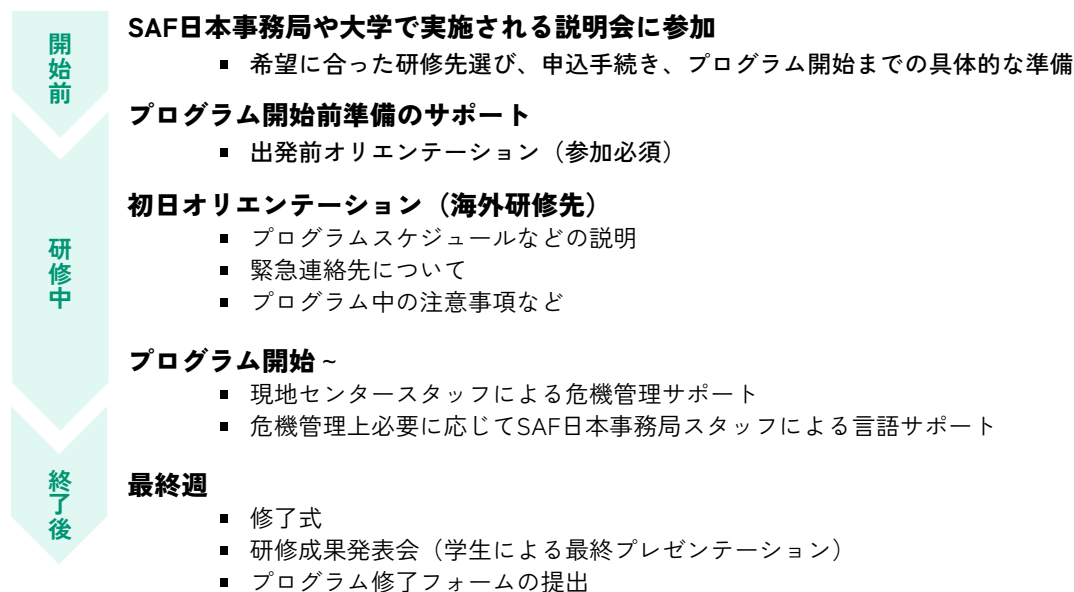
*①海外留学保険は、SAFアメリカ本部が提供するCISI Comprehensive International Health Insuranceに加入します。

*②春季研修の航空券手配は、京王観光株式会社がサポートいたします。

【春季研修航空券についてのお問い合わせ先】

京王観光株式会社（担当：ホップス、渡邊）Eメール：saf-general@keio-kanko.co.jp

プログラム開始前から終了後までの下記の内容の留学サポートを提供します



申込手続き・研修参加までの流れ

1. 研修の内容・出願に必要な要件（P.1-2を参照）を確認してください。
2. 京王観光提供の航空券手配説明動画（P.18）を視聴し、航空券手配手続き方法及びキャンセル規定について確認し、内容を十分にご理解いただいたうえでプログラム申込手続きをお進めください。
3. 研修申込締切（次ページ参照）までに、SAFウェブサイト（QRコード）より申込手続き、プログラム費用の確認をして、手続きを完了してください。
4. 出願料（US\$200）と参加デポジット（US\$300）（※）を支払期限（次ページ参照）までにお支払いください。 ※P.1のプログラム費用に含まれる費用です。
5. 出願書類アップロード締切（次ページ参照）までに手続きを完了してください。
6. 残りのプログラム費用を支払期限（次ページ参照）までにお支払いください。
7. 出発前オリエンテーションへの参加
8. 出発

詳細・申込方法は
こちらから▼



【募集人数】

全てのプログラムに**最少催行人数（P.1参照）**が設定されています。
最少催行人数が次ページの申込締切日時時点で満たない場合、プログラムは中止となります。
※定員になり次第、申込受付を終了いたします。

各手続き期日・オリエンテーション・説明会日程

2025年春季分野別海外研修プログラム（申込～出発）

申込締切：11月4日（月）17時まで

- * 定員になり次第、申込受付を終了いたします。詳細は随時ウェブサイトをご覧ください。
- * 航空券手配申込締切も上記日時となります。詳細はウェブサイト掲載の申込手引きをご覧ください。
- * 最少催行人数を満たさずプログラムが催行されない場合は、11月4日（月）17時以降に申込頂いた方へお知らせいたします。

出願料・参加デポジット支払期限：11月5日（火）～11月8日（金）

出願書類アップロード締切：

詳細はウェブサイトからダウンロードできる「申込の手引き」をご参照ください。

プログラム費用支払期間：2025年1月～2月頃（別途ご案内いたします）

- * 出願料・参加デポジットを差引いたプログラム費用

出発前オリエンテーション：2025年2月13日（木）13:30～16:00（原則、参加必須となります）

募集説明会（オンライン）

募集説明会：

- ① 9月28日（土）10時～11時15分
- ② 10月15日（火）18時～19時30分

参加方法は
こちらから▶



個別相談の
ご予約は
こちらから▶



キャンセル規定・お申込みの際の注意点

- 申込手続きの詳細や日程は、変更となる場合もありますので、SAFウェブサイトで各詳細を確認してください。
- 2024年8月現在、本プログラムの参加申込に際してのコロナワクチン接種要件はありません。しかし、渡航前にコロナ感染症等にかかることのないよう体調管理には十分にお気をつけください。万一現地で感染症による隔離が必要になり、滞在先（部屋）を追加確保する場合の費用は参加者の自己負担となりますので予めご了承ください。
- 申込成立後、出願料(US\$200)及びプログラムデポジット(US\$300)のお支払い義務が発生します。またいかなる場合であっても返金できません。※最少催行人数（P.1参照）を満たさない場合のみ返金いたします。
- 出願料、デポジット、プログラム費用（航空券費用除く）のお支払いは国際送金システム（Flywire:国内送金を通して海外送金ができるサービス）を使用して、直接 IES Abroad へお支払頂くことになります。
- 航空券、航空券に関わる費用は旅行会社へ直接お支払い頂くことになります。
- 出願料、デポジット、プログラム費用、航空券費用等の振込みにかかる手数料は自己負担となります。
- その他プログラム費用返金・キャンセル料等に関する詳細は、申込手引きで提示するSAF返金規定を必ずご確認ください。

航空券費用に関する返金・キャンセル料等に関する詳細は、旅行会社及び航空会社の規定に準じます。右のQRコードより京王観光提供の「航空券手配手続き説明動画」及び「ご旅行条件書(手配旅行)」をプログラム申込前に必ずご確認ください。

※要確認※



航空券手配手続き説明動画

※要確認※



ご旅行条件書



📷 Haruka YAMAZAKI (2024 Spring) 📍 Rome, Italy

米国非営利教育機関
SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局

✉️ japan@safabroad.org

🌐 <https://japan.studyabroadfoundation.org/tanki>



詳細・申込は
こちらから